

走行シミュレーション、VRアニメーション

東京コンサルタンツ(株)

1. 背景

- ・道路事業にあたって、地元の方々や道路利用者の事業へのご理解が得られず、事業遂行に多大な時間を要する場合や、事業計画そのものを大きく変更せざるを得ない状況に陥る場合などもあります。
- ・地元の方々や道路利用者の事業への迅速なご理解や合意を得るためには、交通状況や需要、現状の問題点などからその事業の必要性を明確にすることのほか、整備後の状況や現在との変化をわかりやすく示すことが必要です。
- ・そのための一つの手段として、走行シミュレーションやVR（バーチャルリアリティ）アニメーションを用いることが有効です。

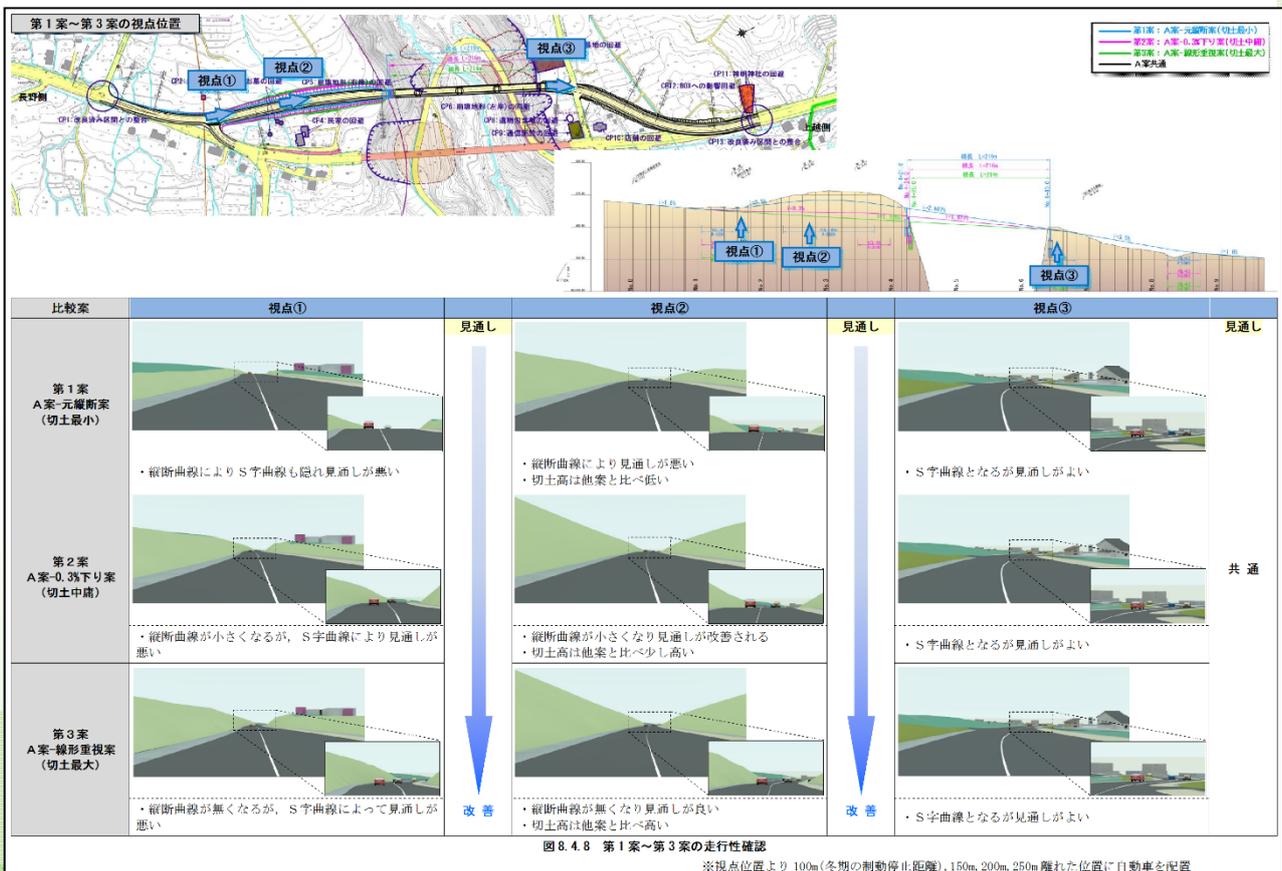
2. 概要

- 1) **走行シミュレーション**：従来、平面図や縦断図、横断図などの2次元的な図面を用いて判断していた「走行性」について、3次元CGを用いて整備後の実際の運転者からの視点による走行性をビジュアル（視覚的）に判断できます。
- 2) **VRアニメーション**：走行シミュレーションと同様に3次元CGを用いますが、周辺を含めたより精度の高いものを作成して、現況に対して整備後の状況をよりリアルに確認できます。

3. 事例

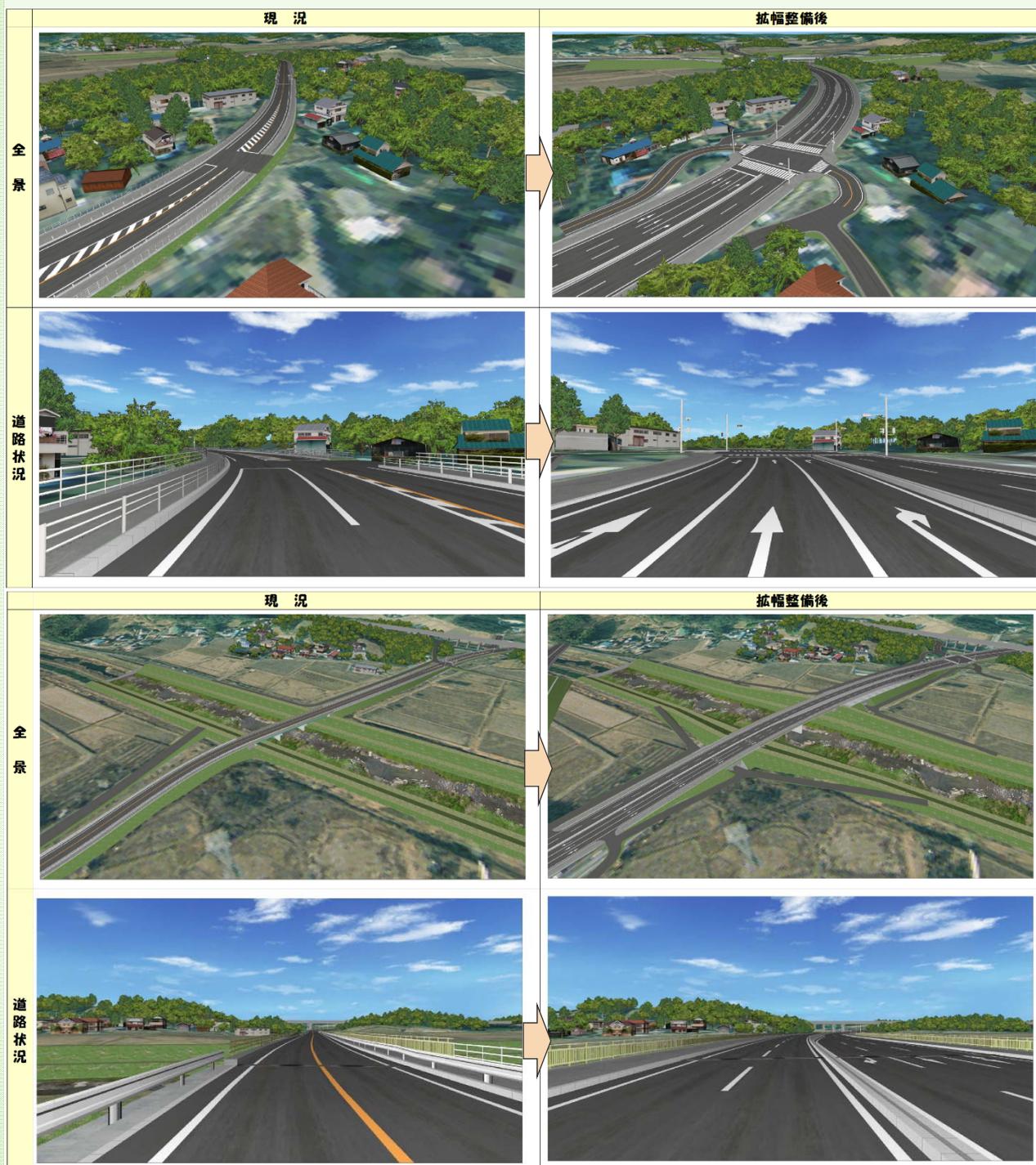
1) 走行シミュレーションの例

- ・以下の事例は、国道のバイパスルート設計において、経済性や施工性などの評価項目に加えて、走行シミュレーションにより走行性や見通しなどを視覚的に確認・評価し、ルート選定の資料としたものです。
- ・この事例では、経済性などに大きな差異がなかったため、走行シミュレーションでの確認により、見通しなどが優れる案を採用案としました。



2) VRアニメーションの例

- ・以下の事例は、国道の拡幅設計において、沿道の建物や地物を含めて現況および整備後のVRアニメーションを作成し、地元協議資料としたものです。
- ・VRアニメーションは、以下のように静止画として取り出して手持ち資料などに利用できるほか、走行シミュレーション動画を作成することにより地元協議時に実際の走行イメージを確認したり、PC等の必要な機材を準備して地元協議の場で視点を自在に変更して整備後の状況を確認したりできます。



問い合わせ先 / 東京コンサルタンツ(株)技術本部
 TEL:03(3255)9682 FAX:03(3255)9685
 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-8-5 プロステック淡路町5F
 または、<http://www.Tokyo-con.co.jp/mail/mail1.php>のお問い合わせフォームよりお願いします。